

令和7年7月18日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 しまたに ひろゆき 島谷 弘幸）は、令和7年7月18日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに130件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は14,630件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 件 数	1 3 0	1 4, 6 3 0
関係都道府県数	2 7	4 7
関係市町村(区)数	4 8	1, 0 3 6

○時 代 別 (件)

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和			計
				前期 (S元～ S20)	中期 (S21～ S40)	後期 (S41～ S64)	
新規登録	3 3	2 9	1 4	2 3	2 7	4	1 3 0
累 計	2, 6 3 1	4, 5 6 6	2, 9 3 5	3, 7 2 6	6 9 3	7 9	1 4, 6 3 0

○種 別 (件)

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新 規	5	7	17	1	0	1	1	5	46	46	0	1	130
累 計	141	1, 507	1, 805	528	253	459	337	518	6, 554	2, 211	225	92	14, 630

(件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	1 0 4	1	2 5	1 3 0
累 計	1 1, 6 4 4	6 7 9	2, 3 0 7	1 4, 6 3 0

今回の答申における主なもの

①越屋根が目を惹く現役の絨毯製造工場

017～020 オリエンタルカーペット株式会社マーセライズ棟ほか3棟

山形県山辺町 昭和25年／昭和中期増築

市街地中心部に位置する絨毯製造工場の艶出し加工（マーセライズ加工）や洗濯工程を担う棟。半切妻造り鉄板葺き屋根の棟頂部に越屋根を設け、外壁に連続窓を配した開放的なつくり。敷地内の他施設と統一的な外観で、地域景観を形成する現役の工場。



②黒部川の深い渓谷にかかる鉄橋

034 旧山彦橋 富山県黒部市 大正13年／平成13年改修

宇奈月温泉に位置し、黒部川に架かる旧鉄道橋。深い渓谷に架かるスパン69メートルの鋼製スパンドレルブレーストアーチ橋で、同形式の橋梁として我が国最古になる。黒部川の電源開発を支えた大規模な橋梁で現在は人道橋として活用。



③善光寺の北方に建つ独創的な形式の納骨堂

047 善光寺雲上殿本殿 長野県長野市 昭和24年／昭和63年頃・平成24年改修

善光寺の中軸線の北方に位置し、大峰山の南麓に建つ納骨堂。設計は沖津清。中央に鉄骨鉄筋コンクリート造の多宝塔を配し、東西に翼廊を延ばした独創的な形式とする。コンクリート造形で寺院建築の細部意匠まで表現した上質なつくりの納骨堂。



④古典様式を纏った美しい姿の旧配水塔

059 名古屋市演劇練習館（旧稲葉地配水塔）

愛知県名古屋市 昭和12年／昭和40年・平成7年改修

J R名古屋駅西方の稲葉地公園内に位置する旧配水塔。設計は名古屋市水道局。基壇上に建つ円筒形の構造体の中央と外周に円柱を立て、上部の巨大な貯水槽を支持。古代の円形神殿を想起させる美しい姿が、地域のランドマーク的存在。現在は市の演劇練習用施設として活用。



⑤左官職人の情熱を伝える洋館付き住宅

081 大矢家住宅主屋 大阪府交野市 昭和14年頃／平成15年改修

J R星田駅南東の高台に位置する実業家の旧別荘。洋館南面に設ける玄関ポーチの柱はモルタル塗りの擬木仕上とし、上部のペディメントに漆喰レリーフを飾る。和館は玄関や座敷など数寄屋風意匠とし、内外ともに凝ったつくりの上質な住宅。



⑥村野藤吾による水平性を強調したクラブハウス

086 宝塚ゴルフ倶楽部クラブハウス

兵庫県宝塚市 昭和34年／昭和46年・平成8年増築、同24年改修

逆瀬川沿いに位置するゴルフ場のクラブハウス。設計は村野藤吾を中心とする建設委員会。斜面地に建つ東西に長い平面で、地上3階地下1階建てとする。外周に大きく軒を張出し、水平性を強調しつつ、塔屋と組み合わせた外観が周囲の環境と調和を生む。



⑦飛鳥地域に佇む洗練された和風意匠の資料館

089 ^{な ら ぶ ん か ざ い け ん き ゅう し ょ あ す か し り ょ う か ん} 奈良文化財研究所飛鳥資料館本館 奈良県明日香村 昭和49年

明日香村北部にある文化財展示施設。設計は谷口吉郎。長大な切妻造りの東西棟は、白色の外壁に格子窓を整然と並べ、周囲に高欄付きの縁を廻らす。洗練された和風の外観が飛鳥地域の歴史的な景観と巧みに調和する谷口晩期の作品。



提供：奈良文化財研究所

⑧角地に建つ洋風の外観が地域のランドマーク的存在

102 ^{くれ} 呉 Y W C A 会館 広島県呉市 昭和前期／昭和53年改修

^{くれこう} 呉港東方の高台の角地に位置する Y W C A の会館。敷地形状に合わせた V 字形平面で、西角隅切部に大きく窓を開けて吹き抜けのホールとし、踊場付きの階段で二階へ上る。角地に建ち、外壁を下見板張りとした洋風の外観が、地域のランドマーク的存在。



⑨高い鐘塔が印象的な外観のハンセン病療養施設

129 ^{きくちけいふうえん} 菊池恵楓園旧事務本館 ^{びょうりょうようし せ っ} 熊本県合志市 昭和26年／令和4年改修

^{くろいしばる} 黒石原の高原地帯に位置するハンセン病療養施設の旧事務本館。設計施工は竹中工務店。2階建て鉄筋コンクリート造で正面中央に車寄を付し、希望の塔と呼ばれる鐘塔を屹立させる。水平な軒と鐘塔の交差が外観の意匠を印象づける。現在は歴史資料館として活用。



<担当> 文化庁文化財第二課 電話：075-451-4111（代表）
課長 田中 禎彦
課長補佐 上田 和輝
登録部門 清永 洋平、井東 大典、小野寺 洋介（内線 9755）
審議会係 今村 結記、市橋 弥生（内線 9756）

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
27	アトリエあずき倉庫(旧青木製紙工場倉庫)	埼玉県さいたま市	S26/S50、R5改修	JR浦和駅西方に位置する旧製紙工場の小豆倉庫。敷地中央に位置する切妻造り妻入りの東西棟で、搬出入用貨車のレール敷を残し、往時の様相を留める小豆用倉庫。現在はシェアオフィスとして活用。	建築物	産業2次	1
28	星野家住宅主屋	埼玉県さいたま市	S36	旧三室村の中心部に建つ旧家の主屋。設計はシェアリアリエとして活用。全体に均整が取れたモダンな意匠の主屋。	建築物	住宅	2
29	富田家住宅主屋	埼玉県羽生市	S27/S49増築	市街地の中心部に位置する旧染物店の離れ座敷。二階建て切妻造り平入りで入母屋造り玄関を突出。南庭に面して各階3室の続き間座敷を配し、全体に凝ったつくりの離れ。	建築物	住宅	2
30	繁田(はんた)家住宅長屋門	埼玉県入間市	文政11(1828)/S前期改修	市街地の北東、角地に東向きで建つ旧名主屋敷の長屋門。平屋建て切妻造り平入りで、外壁は漆喰壁で腰は彫子下見板張。通りに面して歴史的景観に寄与する長屋門。	建築物	住宅	1
31	細谷(ほそや)家住宅主屋	千葉県白子町	慶応2(1866)/S23改修、同49移築	九十九里浜浜西の集落に位置する旧網元屋敷の主屋。平屋建て寄棟造り平入り茅葺きで、南・西面は半繁垂木の軒天井を張る。茅葺き屋根が地域景観をつくる民家。	建築物	住宅	2
32	観山亭主屋	神奈川県箱根町	S21/S25増築、H10改修	名勝神仙郷の創設者岡田茂吉の住宅の主屋と湯殿。主屋は敷地中央西寄りに建ち、分節された縁勾配のこけら葺き屋根と周囲を廻る下屋が庭園と調和する。増築部は吉田五十八の作品としても貴重。浴室棟は東から化粧室・脱衣室・浴室を配し、屋根こけら葺で棟高を変える。庭に面した開放的なつくりの浴室棟で、吉田五十八による秀作の一つ。	建築物	住宅	2
33	観山亭湯殿		S22		建築物	住宅	2
34	旧山彦橋	富山県黒部市	T13/H13改修	宇奈月温泉に位置する旧鉄道橋。スパン六メートルの鋼製スパンドレブルプレートアーチ橋。同形式の橋梁として我が国最古で、黒部川の電源開発を支えた貴重な大規模橋梁。	土木	交通	2
35	加藤善次郎商店店舗兼主屋	福井県越前市	M前期/S前期・同30代・同54・同61改修	旧北陸道沿いに東向きで建つ、打刃物問屋の店舗兼主屋と土蔵。店舗兼主屋は二階建て切妻造り平入りで軒は出桁造とする。一階上屋(じょうや)筋に畳上戸(すりあげど)を留めるなど、古風な構えを残す町家。土蔵は店舗兼主屋の西に位置する家財蔵。2階建て切妻造り妻入りで、戸口や窓に鉄扉を付すなど嚴重なつくりで、西妻に屋号を掲げて地域の景観をつくる。	建築物	産業3次	1
36	加藤善次郎商店土蔵		S7/S前期増築		建築物	産業3次	1
37	山口家住宅(吉田屋)表門	山梨県富士吉田市	M後期/S27移築、H13改修、同21移築	御師住宅の連なる富士みちらに西向きで建つ旧旅館の表門。一間東医門、切妻造り瓦葺銅板葺きで、軸部木太く質実なつくりで富士みちのランドマークとなる門。	工作物	産業3次	1
38	昌福寺(しょうふくじ)本堂	山梨県富士川町	元文6(1741)/M6改修	富士川右岸の位置する日蓮宗寺院。境内中央に建つ本堂と、北側の庫裏との間に大玄関及び小玄関。北西に書院、虫切加持堂を配し、渡廊下で繋ぐ。本堂南西に鐘楼堂、旧七面堂を配し、境内正面に山門を開く。本堂は桁行約二〇メートル、入母屋造浅瓦葺、正面南向拝付き。前面に吹放しの外陣を通し、六室を配す。下山工の力量を示す大型本堂。庫裏は正面は軸部を化粧で見せ、上部の虹梁大束、両脇の海老虹梁。特異な形式の火付窓など装飾性も豊か。大玄関は入母屋造り妻入りで前一間を吹放しの式台とし、虹梁に菊花など流麗な彫刻を飾る。規模雄大で格式あるつくりの玄関。書院は入母屋造りで妻飾りを雲紋の幕段や変形で飾る。南端室に間口二間の大床を構えた上質なつくり。渡廊下は平行四辺形平面で両下造り。床面を反楠状とするが、屋根と軒を直線につくる。書院前庭の庭空間に風情を添える廊下。虫切加持堂は夜立や欄干封じの折衝をする仏堂。宝形造の前面に入母屋造り妻入りで軒唐破風付の拝所を接続する。虫切加持の中核となる特異な仏堂。鐘楼堂は大振りの自然石積基壇上に建つ鐘楼。方一間、袴腰り、入母屋造り妻入り。持送など賑やかで細部意匠も凝った鐘楼堂。旧七面堂はかつて七面大明神を祀った建物。土蔵造入母屋造り妻入りの前面に、切妻造り妻入りの拝所を設ける。内部は格天井とし、格間に懸鈴や川柳を飾る。当地の七面信仰の様相を伝える。山門は切妻造りの高麗門で左右に袖塀を設ける。木鼻や肘木など随所に華やかな絵様を施す。古刹の表構えをつくる大型の山門。	建築物	宗教	2
39	昌福寺庫裏		安政4(1857)/H24改修		建築物	宗教	1
40	昌福寺大玄関及び小玄関		安政4(1857)/M5改修		建築物	宗教	2
41	昌福寺書院		安政5(1858)/H24改修		建築物	宗教	2
42	昌福寺渡廊下		E末期		建築物	宗教	1
43	昌福寺虫切加持(むしきりかじ)堂		文化9(1812)/S前期改修		建築物	宗教	1
44	昌福寺鐘楼堂		安永7(1778)		建築物	宗教	2
45	昌福寺旧七面(しちめん)堂		天保6(1835)/H24改修		建築物	宗教	1
46	昌福寺山門		寛政2(1790)/H27改修		工作物	宗教	1
47	善光寺雲上殿本殿	長野県長野市	S24/S63頃・H24改修	善光寺の中心部に位置する納骨堂。設計は沖津清。中央に鉄骨鉄筋コンクリート造鉄板葺きの多宝塔を配し、東西に鉄筋コンクリート造二階建の翼堂を延ばした独創的な形式。	建築物	宗教	2
48	上條産婦人科医院	長野県松本市	T4/T後期増築、S後期改修	市街地中心部の旧片端町に位置する産婦人科医院。診療室は金属板表飾天井や腰タイル貼など上質な仕上。上下窓に楕形ベディメントを付した洋風の外観が地域景観をつくる。	建築物	文化福祉	1
49	旧土屋家住宅主屋	長野県上田市	M25/S中期改修	市街地北西の山間に位置し、かつて養蚕を営んだ農家の主屋。二階は三室の板間を南北に並べ蚕室とする。正面に大きな窓を並べ、養蚕農家らしい外観の民家。	建築物	住宅	1
50	小諸市立藤村記念館	長野県小諸市	S33/S45増築	小諸城址懐古園内に南面して建つ島崎藤村の記念館。設計は谷口吉郎。正面は格子を並べ、東半は吹放ちの石敷土間。緩勾配屋根と簡素な和風意匠が公園内の景観と調和する。	建築物	文化福祉	2
51	旧矢崎商店店舗兼主屋	長野県下諏訪町	S11/S20改修、同30増築	御田町通りの中心部に西面する旧生糸問屋の屋敷。店舗兼主屋、文庫蔵、納屋は正面側は立体感あるアールデコ調の外観とし、戦後の下諏訪の繁栄を伝える看板建築。文庫蔵は土蔵造で内部は柱に横板を落し込み、柱や最下段の壁板にタタキを用いる。階段下に棚を造作するなど丁寧なつくりの土蔵。納屋は味噌蔵兼物置。不整形平面の平屋一部二階建て、片流屋根瓦葺き。外壁モルタル流仕上、腰は独特な自然石貼。頂部にパラペットを廻らした洋風の独特な外観が主屋と呼ぶ。	建築物	産業3次	1
52	旧矢崎商店文庫蔵		S11		建築物	産業3次	2
53	旧矢崎商店納屋		S前期/S30頃改修		建築物	産業3次	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
54	旧旅館柏屋主屋	岐阜県御嵩町	E末期／R4改修	御嶽御中心部、中山道に北面する旧旅館。一階はかつて中土間を通し、南西に床構え付き座敷を残す。宿場町の歴史を今に伝える大型町家。現在は飲食店として活用。	建築物	産業3次	1
55	旧岡家住宅(つたや)主屋	静岡県磐田市	M21頃／S10移築	天竜川の津町として栄えた掛塚の中心部に敷地北寄りに建つ住宅の主屋と土蔵。主屋は一階は根太天井を主とする質実なつくりで、二階座敷は良材を用いる。天竜川舟運の繁栄を伝える主屋。土蔵は切妻造り棧瓦葺きの商品蔵。一階は外壁を伊豆石の布積とし、下屋正面中央に欠円アーチの戸口を開ける。地方的特色を示す堅牢な土蔵。	建築物	産業3次	2
56	旧岡家住宅(つたや)土蔵		M後期		建築物	産業3次	1
57	春田家住宅主屋	愛知県名古屋	T13／H12改修	名古屋城東方の住宅地に位置する。もと陶磁器貿易商の主屋と門及び塀。主屋は敷地北側の洋館に和館を接続し、いずれも2階建て棧瓦葺き。折上天井の応接間など和洋の意匠を巧みに用いた端正な住宅。門は通りより控えて建つ切妻造り平入りの腕木門で塀と一体で屋敷の風格ある表構えをつくる。現在は飲食店として活用。	建築物	住宅	2
58	春田家住宅門及び塀		T13頃／H12改修		工作物	住宅	1
59	名古屋市演劇練習館(旧稲葉地配水塔)	愛知県名古屋	S12／S40・H7改修	名古屋駅西方の稲葉地公園内に位置する旧配水塔。円筒形の構造体の中心と外周に長大な円柱を立て、古代の円形神殿を想起させる壮麗な姿が、地域のランドマーク的存在。現在は市の演劇練習施設として活用。	建築物	生活関連	1
60	野々垣家住宅主屋	愛知県犬山市	S9／H8頃改修	犬山城南方に位置する神社宮司の住宅の主屋。敷地中央に南面する2階建て切妻造り平入りで、ガラス窓を多用した外観が時代相を示し、地域の歴史的景観をつくる。	建築物	住宅	1
61	旧向井家住宅主屋	三重県志摩市	T10	阿児川南岸の丘陵地に位置する旧家の屋敷。敷地北側に主屋を建て、北東に道具蔵と衣装蔵、敷地東面に建つ正門、敷地周囲を囲む石塀からなる。主屋は平屋建て切妻造り平入りで周囲に下屋を廻らす。表面に鏡板を付し、当地域らしい外観の民家。道具蔵は石垣上に建つ、什器などの収納蔵で、道具蔵の西隣に建つ衣装蔵は、いずれも土蔵造り2階建て切妻造りで石塀と一体で敷地景観を形成する土蔵。正門は切妻造り平入りの門。戸口にクヤキ一枚板の重厚な門扉を開き、旧家の格式ある表構えをつくる。敷地周囲を囲む石塀は花崗岩を用い、切込接(きりこみはぎ)の布積、谷積を組合せ、隅を算木積で精緻に積上げるなど、石工の高い技術を示す。旧家の重厚な屋敷構えを整え、独特な地域景観をつくる。	建築物	住宅	1
62	旧向井家住宅道具蔵		M36／S中期改修		建築物	住宅	1
63	旧向井家住宅衣装蔵		M42／S中期改修		建築物	住宅	1
64	旧向井家住宅正門		T6		工作物	住宅	1
65	旧向井家住宅石塀		M後期		工作物	住宅	1
66	旧小澤家住宅店舗兼主屋	滋賀県多賀町	E末期／H28改修	多賀大社の門前町に位置し、かつて土産物屋を営んだ商家の主屋、離れと土蔵。主屋は多賀道に北面する二階建て切妻造り平入りで南西に角座敷を附属する。通りに面し門前の景観をつくる町家。主屋の南に接続する離れは2室の納き間座敷で西面の広縁や濡縁を介して庭を望む。裏所に繊細な意匠を用いる離れ。主屋の西側に位置する土蔵は絵縁付の腕木で軒桁を支持するなど軒廻り賑やかで、小規模ながらも主屋と一体となって門前の歴史的な景観を形成する。	建築物	産業3次	1
67	旧小澤家住宅離れ		S34		建築物	産業3次	2
68	旧小澤家住宅土蔵		E末期／H28改修		建築物	産業3次	1
69	せんなり亭多賀別邸(旧石田家住宅)座敷棟	滋賀県多賀町	S10頃／R3改修	多賀大社の門前町に位置する宮大工の旧宅の旧宅の座敷棟と門及び塀。座敷棟は建ちの高い二階建てで、各階二室で北室を床構え付き座敷とし、三方に縁を廻らす。多賀道を望み、門前町の風情を伝える座敷棟。塀は外壁漆喰塗上部に格子窓を開け、腰は堅板最とする。座敷棟とともに門前町の景観をつくる瀟洒な門及び塀。現在は飲食店として活用。	建築物	住宅	1
70	せんなり亭多賀別邸(旧石田家住宅)門及び塀		S10頃		工作物	住宅	1
71	上田家住宅主屋	京都府京都市	S前期	仏光寺通りに南面して建つ旧白生地間屋の主屋と土蔵。主屋は表屋造で、北に二階建の離れを接続する。正面1階の出格子構えは、腰を大判の御影石貼とするなど、時代の流行を伝える近代の町家。土蔵は主屋の北に位置する茅財蔵。戸口に重厚な鉄扉を構え小規模ながら丁寧なつくりの土蔵。	建築物	住宅	1
72	上田家住宅土蔵		E末期／S前期改修		建築物	住宅	2
73	Hotel宇多野京都別墅(べっしょ)(旧大渡(おおわた)り家住宅)主屋	京都府京都市	S14／S29増築、R6改修	双ヶ岡の西に位置する実業家の旧宅主屋。庭に南面する主屋のほか、正門、通門、中門からなる。主屋は二階建ての和館を中心に北東に玄閣棟、西に座敷棟、南東に洋館を接続する。和洋の意匠を巧みに用い、大規模で良質な近代和風住宅。正門は腕木門で、両脇に袖塀を付す。大規模な屋敷の表構えを整える端正な姿。通門は腕木門で主柱に出筋丸太、控柱にナグリ仕上とするなど、瀟洒なつくり。中門は庭園の入口に開く門。主柱は強い、控柱はナグリ仕上とするなど凝ったつくりで、庭園の景観を演出する。現在は宿泊施設として活用。	建築物	住宅	2
74	Hotel宇多野京都別墅(旧大渡家住宅)正門		S14頃		工作物	住宅	1
75	Hotel宇多野京都別墅(旧大渡家住宅)通門		S14頃		工作物	住宅	1
76	Hotel宇多野京都別墅(旧大渡家住宅)中門		S14頃		工作物	住宅	1
77	旧河崎家住宅主屋	大阪府大阪市	S11／R6改修	藤田邸跡公園の南に位置する実業家の旧宅。設計は木子七郎。緑鉄スベイン瓦やアーチ窓などスバニッシュ様式を基調とし、軒を深く、和風要素を加味した意匠に木子の作風が窺える。現在は美容施設として活用。	建築物	住宅	2
78	横山家住宅主屋	大阪府大阪市	S9／S60代改修	英申街道の西側に位置する実業家の住宅主屋。二階建てで、外壁はモルタル掻落仕上とし、出隅に水平帯を飾るなど、セセッション風意匠をみせる主屋。	建築物	住宅	2
79	瀧山家住宅(旧谷口家住宅)主屋	大阪府大阪市	S8／S39増築、同50頃、R3改修	万代池公園東方の住宅地に建つ教員の旧宅。外観はスバニッシュ様式を基調とし、玄閣廻りや応接室に泰山タイルやステンドグラスを用い、意匠的な特徴をみせる。現在はシェアハウスとして活用。	建築物	住宅	2
80	紙野家住宅主屋	大阪府貝塚市	S26／H5頃改修	南海貝塚駅の北西に位置し、通りに東面する旧遊郭。玄閣はタイル敷の土間で船底天井とし、北面に勘定台を備える。細部まで凝ったつくりの遊郭建築。	建築物	産業3次	1
81	大矢家住宅主屋	大阪府交野市	S14頃／H15改修	JR星田駅南東の高台に位置する実業家の旧別荘。洋館南面の玄閣ボーチは一階柱を腕木(ぎばく)仕上とし、櫛形ペディメントに漆喰レリーフを飾る。内外ともに凝ったつくりの主屋。	建築物	住宅	2

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
82	旧安藤家住宅主屋	兵庫県明石市	T11／S前期増築	明石港西岸部に位置し、製粉業を営んだ商家の屋敷。主屋・離れ・土蔵からなる。主屋は二階陣を洋室とし縦長窓を開ける。一階から上上げた巨大な袖卯建(そでうだつ)が目を惹く豪壮な構えの町家。離れは座敷棟で、室内は大壁で洋風を基調としつつ、縁境に煤竹格子の欄間や丸窓などを配し、和風を加味した折衷意匠の離れ。土蔵は家財蔵で、外壁は漆喰塗仕上で軒まで塗込め、鉄巻を廻らし、腰は高く堅板を張る。通りに面し重厚な外観で、地域の歴史的な景観を形成する土蔵。現在は飲食店として活用。	建築物	住宅	1
83	旧安藤家住宅離れ		T11頃／S中期増築		建築物	住宅	1
84	旧安藤家住宅土蔵		T11		建築物	住宅	1
85	兵庫県立明石高等学校中部講堂	兵庫県明石市	S31／H27改修	明石城跡の北東に位置する高校に実業家の中部謙吉が寄附した講堂。鉄骨造及び鉄筋コンクリート造2階2階一部3階建て。尖頭形のヴォールト屋根が外観を印象づける。	建築物	学校	1
86	宝塚ゴルフ倶楽部クラブハウス	兵庫県宝塚市	S34／S46・H8増築、同24改修	逆瀬川沿いのゴルフ場のクラブハウス。設計は村野藤吾を中心とした建設委員会。水平性を強調しつつ、塔屋と組合わせた外観が、周囲の環境と調和を生む。	建築物	産業3次	2
87	旧高原家住宅奥座敷	兵庫県加西市	M22／M後期増築	市街地南部の農村集落に位置する旧家の座敷棟2棟。奥座敷は続き間座敷で、南庭に面して縁を廻らし、銅板葺の下屋を付す。床と床脇に天袋付の清檜棚、付書院を備え、室境の透欄間など上質。中座敷は十量の一室で、壁を色土壁、床柱に赤マツの皮付丸太など用材を吟味した座敷棟。	建築物	住宅	2
88	旧高原家住宅中座敷		M42		建築物	住宅	2
89	奈良文化財研究所飛鳥資料館本館	奈良県高市郡明日香村	S49	明日香村の北部にある文化財展示施設。本館と売礼所からなり、設計は谷口吉郎。本館は切妻造りの東西棟を前後に配し、外壁に格子窓を整然と並べ、周囲に高欄付縁を廻らす。洗練された和風の外観が、飛鳥地域の歴史的な景観と調和する谷口晩期の作品。売礼所は本館と共通する均整の取れた端正な外観で、本館と一体となって歴史的景観に寄与する。	建築物	文化福祉	2
90	奈良文化財研究所飛鳥資料館売礼所	奈良県桜井市	S50／S52改修		建築物	文化福祉	2
91	高山寺本堂	和歌山県田辺市	S43／H26改修	会津川沿いの高台にある真言宗寺院本堂。設計は大岡實。鉄筋コンクリート造で、太い木割、柱や桁の隅延び、軒反りの曲線など表現し、古代建築に精通した大岡實らしい仏堂。	建築物	宗教	2
92	西南院本堂	和歌山県高野町	M34頃／S中期改修	高野山の西院分(さいいんぶん)に位置する真言宗寺院。境内南東部に北面して建つ本堂型ほか、経蔵・山門からなる。本堂は内陣を並列する特徴的な平面で東に金剛界大日如来、西に不動明王を安置。明治3年焼失後の再建になる近代の大規模な仏堂。経蔵は土蔵造二階建て、一階正面に唐破風造りの前室を付す。前室正面に大振りの板葺段を飾り、組物などに彩色を施した華やかな経蔵。山門は表門となる四脚門。全体に均整とれた姿で、中備の藁段など復古的な意匠でまとめた山門。	建築物	宗教	1
93	西南院経蔵		享和3(1803)／S後期改修		建築物	宗教	2
94	西南院山門		S45頃		工作物	宗教	1
95	蓮華定院本堂及び護摩堂		万延元(1860)／S48増築	一心院格の東北側に位置する真言宗寺院。境内南西端に東面して建つ本堂及び護摩堂ほか、客殿及び庫裏、山門、塀からなる。本堂及び護摩堂は天保14年大火後の再建で、外壁は漆喰塗仕上の大壁で堅年につくり、独特な外観を呈する仏堂。客殿及び庫裏は東の庫裏、西の客殿からなり、客殿の正面に一間幅の広縁及び濡縁を付して、高欄を廻らす。高野山内における江戸時代の典型的な客殿建築の一つ。山門は四脚門で獅子鼻や猿鼻、腰貫上部の牡丹唐草の透欄間など精緻な彫刻を付し、要所の鍔金具とともに装飾豊富。塀は山門の西側に続く柳皮葺の塀。通りに面して海鼠(なまこ)壁が連なり、重厚な外観が歴史的景観をつくる。	建築物	宗教	1
96	蓮華定院客殿及び庫裏		E末期／S50頃増築		建築物	宗教	2
97	蓮華定院山門	和歌山県高野町	万延元(1860)		工作物	宗教	2
98	蓮華定院塀		E末期		工作物	宗教	1
99	坂江家住宅店舗兼主屋	鳥取県米子市	安政6(1859)／M24・S中期改修	加茂川河口の北側に位置し、かつて由屋を営んだ店舗兼主屋と土蔵。店舗兼主屋は二階建て切妻造り平入りで二階の腰を海鼠壁とする。間口狭く、米子城下に残る貴重な町家。土蔵は家財蔵。外壁は白漆喰塗仕上で、腰は海鼠壁とする。柱・棟木、垂木の材は木太く、良材を用いた堅板張など、全体に良質なつくり。	建築物	産業3次	1
100	坂江家住宅土蔵		M5		建築物	産業3次	2
101	旧太池呉服店店舗兼主屋	岡山県新見市	T2／T前期増築、S7頃・同18頃・H21改修	市街地中心部の角地に建つ旧呉服店の店舗兼主屋。二階建て入母屋造り平入りで北に座敷棟を接続。正面一階は平格子、二階は出格子構え。建ちが高く、豪壮な外観の町家。現在は市の交流拠点として活用。	建築物	産業3次	1
102	呉YWCA会館	広島県呉市	S前期／S53改修	呉港東の高台に建つYWCAの会館。敷地に合わせたV字平面で隅切部に縦長窓を開けて吹抜ホールとし、踊場付階段で二階へ上る。角地に建つ洋風の外観が地域のランドマーク的存在。	建築物	その他	1
103	奥田家住宅主屋	広島県安芸高田市	M17／S30代・同57頃改修	市域南東端の山間に位置する旧家の屋敷。敷地中央に南面する主屋ほか、土蔵・牛小屋、木小屋、門からなる。主屋は2階建て片入母屋造り。南西の主座敷は床脇に五段の連櫓を飾り、部屋境の欄間彫刻など凝ったつくり。地域の豪農らしい大規模で良質な主屋。土蔵は家財蔵で外壁は漆喰塗仕上で三段の水切を廻らし、腰をセルタル洗出し上。敷地南東の景観をつくる重厚な土蔵。牛小屋は平屋建て切妻造り平入りで、西面中央は外壁を東に後退して設け、正面側を吹放ちとする。豪農の生業を伝える桁行長大な牛小屋。木小屋は平屋建て切妻造り平入りで、外壁中塗り土とする。牛小屋と連なり豪農の屋敷景観を伝える。門は一間一戸の東医門で東脇に潜戸を設ける。乳金物など打った板戸を開き、豪農屋敷の風格ある表情えをつくる。	建築物	産業1次	1
104	奥田家住宅土蔵		M後期		建築物	産業1次	1
105	奥田家住宅牛小屋		M後期		建築物	産業1次	1
106	奥田家住宅木小屋		M後期		建築物	産業1次	1
107	奥田家住宅門		M後期		工作物	産業1次	1
108	大山家住宅主屋	香川県東かがわ市	E末期／M4頃増築、R2改修	虎丸山(とらまるやま)北麓に位置する大庄屋の主屋。敷地中央に南面する寄棟造り平入り茅葺き(鉄板板葺き)で四周に本瓦葺き下屋を廻らす。広い式台など格式を備えた大規模な民家。	建築物	住宅	2

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
109	福岡縣護国神社本殿	福岡県福岡市	S36	福岡城跡の南に位置する神社。境内東側に西面して建つ本殿の前面は半円形の舞台状基壇とし、拝殿及び翼廊の左右に祈願殿、南翼舎を配す。本殿の背後に奉安殿を配し、透塀で囲い、広場の南北に一对の手水舎兼灯籠を配す。いずれも設計は有南隆。このほか、大鳥居、西鳥居、招魂社鳥居からなる。本殿は鉄筋コンクリート造切妻造り平入りで、周囲の低を被葺きとする。軒裏は平滑に仕上げ、外に延ばす軒桁や梁、肘木の先端に堅溝を切るなど、独創的な意匠。拝殿は鉄筋コンクリート造切妻造り垂入りで、両下造りの翼廊を左右前方にV字状に延ばす。左右対称の壮麗な姿の大規模社殿。祈願殿は拝殿北翼廊に接続し、かつて参拝入口に用いた小舎。南翼舎は拝殿南翼廊に接続し、かつて神職の控室に用いた小舎。いずれも拝殿を中心とした左右対称の壮大な社殿景観を形成。奉安殿は戦没者の名簿を収める社殿。壁面に燐目地を入れたなど全体を校倉造風に仕上げた堅牢な姿。透塀は本殿及び奉安殿の三方を囲み、拝殿背面に接続し、簡明で静謐な佇まい。境内中央の広場の北辺と南辺の中央に建つ南北一対の手水舎兼灯籠は平面八角形、鉄筋コンクリート造宝形造銅板葺で、火袋下方は鉄板にすり手水舎を兼ねる。全体に均整の取れた端正な意匠。大鳥居は境内北辺の参道入口に建つ木造の明神鳥居。設計は二本松孝蔵。台湾ヒノキの原木材を用いた国内最大級の鳥居の一つで地域の象徴的存在。西鳥居は境内西辺の南側に建つ木造の明神鳥居。設計は二本松孝蔵。都心部にあって戦災焼失を免れた貴重な木造の鳥居。招魂社鳥居は境内中央広場の南東に建つ右造の明神鳥居。旧妙見(みょうけん)招魂社からの移築で、各地の招魂社を束ねて創建した、当社の歴史を伝える貴重な鳥居。	建築物	宗教	2
110	福岡縣護国神社拝殿及び翼廊		S36/H12改修		建築物	宗教	2
111	福岡縣護国神社祈願殿		S36/H12・同24改修		建築物	宗教	2
112	福岡縣護国神社南翼舎		S36/H12改修		建築物	宗教	2
113	福岡縣護国神社奉安殿		S36		建築物	宗教	2
114	福岡縣護国神社透塀		S36		工作物	宗教	1
115	福岡縣護国神社北手水舎兼灯籠		S38		工作物	宗教	2
116	福岡縣護国神社南手水舎兼灯籠		S38		工作物	宗教	2
117	福岡縣護国神社大鳥居		S18/R5改修		工作物	宗教	1
118	福岡縣護国神社西鳥居		S18		工作物	宗教	1
119	福岡縣護国神社招魂社鳥居		M3/M39頃・同44頃移築		工作物	宗教	1
120	宇美八幡宮本殿	福岡県宇美町	M19	市街地の中心部に位置する神社。境内に東側に本殿、拝殿及び幣殿。参道中央部に神門を配す。本殿は入母屋造り檜皮葺きで一間向拝を付し、獅子鼻、龍彫の手採など彫刻で飾った華麗な大規模社殿。拝殿及び幣殿は切妻造り垂入りで、増築による変化ある屋根構成が優美な社殿。神門は八脚門。軒反り優美で、参道を見通す開放的なつくりが境内の軸線を強調する。	建築物	宗教	2
121	宇美八幡宮拝殿及び幣殿		M19/M32・S33増築		建築物	宗教	1
122	宇美八幡宮神門		S33		工作物	宗教	2
123	堤家住宅主屋	熊本県人吉市	S前期/S9頃増築、R6改修	人吉城跡の北西、球磨川沿岸の敷地に位置する洋館付き和風住宅。主座敷は広縁を介して川を望み、床框や付書院枠を漆塗とするなど上質な近代和風の住宅。	建築物	住宅	2
124	旧隈府冷蔵製氷工場	熊本県菊池市	S5頃/S前期・同29頃築、R2改修	隈府(わいふ)の中心部に位置する旧製氷工場と旧飲料水工場。製氷工場は全体T字形平面とし、通りに面する北東部は鉾澤煉瓦造で半切妻造り屋根とし壁面に記す工場名が掲業時の風情を伝える。旧飲料水工場は鉾澤煉瓦造平屋建て、内部は一室の土間で銅板矢井張。製氷工場と一体で地域の繁栄を伝える旧飲料水工場。	建築物	産業2次	1
125	旧隈府冷蔵倉庫(旧飲料水工場)		S中期/R2改修		建築物	産業2次	1
126	隈田家住宅離れ	熊本県菊池市	文化15(1818)/T後期移築、R2改修	隈府の中央通りに北面する商家の離れ。土蔵造二階建てで、座敷は床と床脇を深く構え、付書院の欄間は、繊細な柳の透彫とした上質な座敷蔵。	建築物	住宅	2
127	妙蓮寺本堂	熊本県菊池市	M30/H15・同18改修	隈府の中央通りの角地に位置する日蓮宗寺院の本堂と鐘楼門。本堂は内外陣・面脇陣からなり、内陣に須弥壇を配す。向拝は虹梁形頭貫に龍彫刻を横楹させ、装飾華やかな本堂。鐘楼門は通りに面して建つ二重門。上層の正背面に火灯窓を開け、側廻の柱間に菱格子を建て、周囲に擬宝珠高欄付縁を廻らす。絵縁など古式で境内の表構えをつくる。	建築物	宗教	1
128	妙蓮寺鐘楼門		E中期/寛文12(1672)移築、T4改修		建築物	宗教	1
129	菊池恵楓園旧事務本館	熊本県合志市	S26/R4改修	ハンセン病療養施設の旧事務本館。設計施工は竹中工務店。軒と連続する横長窓が水平性を強調し、希望の塔と呼ばれる鐘楼が印象的な外観を構成する。現在は歴史資料館として活用。	建築物	文化福祉	2
130	有馬家住宅蔵	熊本県益城町	M21/R元改修	市街地南方の高台に位置する旧家の米蔵。一階は土間で内壁周囲に荷擦木を打ち、二階は板敷で上部に東立と登梁の和小屋を現す。正面妻の菊の饅絵が目を惹く土蔵。	建築物	住宅	1

注

建設年代: Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成、Rは令和の略。

種別: 土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。

基準: 1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。